

あとがき

本作をお手に取っていただきありがとうございます。またこんな隅まで目に通していただき感謝いたします。

本作品に関しては語れば語るほど味が濁ると思いますので口を慎みたいと思います。

ですが一つだけ言わせていただきますと、人が死んだり踏まれたり幻覚魅せられたりおねショタになったり展開の移り変わりが激しく俗に言うターゲティングがめちゃくちゃである本作ですが僕はこの作品の最後は気に入っています。第一稿を書き上げた後色々考えましたがこの魅力に勝る展開が思い浮かばなかったのをこれを直すのではなく活かす方向に切り替えました。本作に限らず実際視聴したら思ったものと違ったとなることは往々にしてあると思いますがそれでもなおこれはこれでいいよねと本作を聞いて思ってくださった方が一人でもいらっしゃったら特に救われた気分になります。

しかしそれはそれとして次回作は見ていただければわかりますが通常運行に戻り、受け身マゾさん向け作品です。

二郎でいうと僕の愛して止まないめじろ台の汁なしのようなジャンキーオブジャンキーな作品になる予定です。

ちなみに参考程度に本作をあえて二郎で例えるとどこか線の細さを感じさせるところがひばりが丘に似ていると思います。

次回作は順調にいけば来年二月くらいに出せると思います。

ちなみに今回は珍しくタイトルがくどくなく間違いなく変わらずに発売されると思います。

なぜなら今回はタイトルが着想になっている作品だからです。タイトルだけでなく各章のタイトルも決まっているのでこんな箇所を読んでくださった方へのお礼としてのせておきます。

第1章 三文先は闇〜ワンコイン貢ぎマゾ

第2章 チックタックノータッチ射精募金

第3章 A・T・M(All Taken Mazo)

第4章 NUM-AMI-DAKISS〜南無阿弥唾棄ス〜

以上の4本でいこうと思っています。流れは大体察していただけるのではないかと思います。でもどうやってその流れにもっていくかという点に関しては想像の余地を残してる上に聞いた後も噛み締められるうまあじのあるタイトルになっているのではないかと思います。声優さんが二人になったりと製作費を主としたリスクが増える分一層キワキワになりながら書きました。多分これ以降安易に貢ぎマゾシチュを僕が安易に持ち出せない祝福であり呪いのような作品になると思います。

冒頭で手短に済ますと書いていたのですが、長文とは言わずとも中文くらいの長さになってしまいました。これを業界用語で無駄口、専門用語でロスといいます。皆さん気を付けましょう。

でもこれはまだ短い方なのです。

というのもこのあとがきを書くのは実は3回目、これまでの2回は本文の3倍はあろうかという冗長でな文な上に保存していたタブレットPCを空港の持ち物検査のあと収納せず置きっぱなしにするというガバをかましてしまったため、様々な観点からおしゃかになってしまいました。ちゃんちゃん。

だから書き直す必要があったんですね。

こんな感じで少しでも勢いに身を任せると再び再走しなくてはいけなくなるので今宵はここらで一区切りにいたしとうございます。

最後に自分の作品に声を当ててもらおうという密かに抱いていた思いが形になり本作のメイ様に命を吹き込んでくださった琴音様，作品の雰囲気存分に醸し出してくれたエロスなイラストを描いてくださった貞影様両名への感謝を締めあいさつとして替えさせていただきます。

それではまた会う日までごきげんよう。

声優：琴音有波 様

twitter： https://twitter.com/kotone_aku?lang=ja

web site： <https://kotoneak.wixsite.com/mysite>

イラスト：貞影 様

twitter： https://twitter.com/atra_dea

pixiv： <https://www.pixiv.net/member.php?id=821219>

※本作品に登場する人物名は全て架空のものです。

ですがこの作品内で起きている出来事はフィクションとは言い切れません。

なぜなら不思議は現実と背中合わせ常に彷徨っているからです。

※本作品の著作権は当サークル(ぶたぶたべたべ)に帰属します。

当サークルの許可なく複製，再利用，再配布を禁じます。

これはフィクションではなく厳然たる現実なので悪しからず。